



## 辻浩司の埼玉県議会9月定例会報告

### ■ 大野県知事、危機管理に熱意

ネットも支援し当選した大野元裕・新知事にとって初の定例議会となった9月議会。

知事は就任直後に県内で発生した豚コレラ対策として、被害農家への支援や感染予防に関する緊急の補正予算などの議案を提案し、全会一致で可決されました。

### ■ 辻浩司、福祉保健医療委員会で質疑

「障害者が働くことは社会の利益」働く場でも介助利用が可能になることの重要性を指摘

れいわ新撰組から重度障害者が国会議員として誕生しました。それをきっかけに、障害者が通勤や就労中には公的介助サービスが利用できないという法律の問題が改めて注目されています。

この件について上記の委員会で辻浩司が執行部の見解を尋ねたところ、執行部は「企業の利益になる経済活動に公費を使うことに対する是非がある。国の動きを注視していきたい」と答弁しました。

それに対して辻は「障害者の経済活動からは働く障害者が納税するようになるなど、より広い意味での社会的利益が生まれる」と指摘し、見解の転換の必要性を指摘しました。

現在、国でも障害者の就労時の介助についての検討が開始されています。

## 第24回総代会のお知らせ

埼玉県ネットは2月20日(木)15時から2020年度の総代会を開催します。

場所は生活クラブ本部2FのA・B会議室です。

総代会に先立って13時半から市民セクター政策機構の代表白井和宏さんの講演『(仮題)代理人運動の展望』があります。

傍聴は自由です。どうぞおいでください!



白井和宏氏



2019年度の総代会の様子

## 埼玉県市民ネットワーク 地域ネット一覧

9月に飯能にネット準備会が誕生して地域ネットが12に増えました!!  
みんなで力を合わせて市民自治の埼玉をめざします!

生き生き市民ネットワーク鴻巣  
越谷市民ネットワーク  
市民ネットワーク鶴ヶ島  
市民ネットワーク所沢  
はにゅう市民ネットワーク  
富士見市民ネットワーク

ネットワーク三芳  
よしかわ市民ネットワーク  
まちネット寄居  
さやま市民ネットワーク準備会  
くまがや市民ネットワーク準備会  
飯能市民ネットワーク準備会



埼玉県市民ネットワーク  
共同代表 辻浩司・山田裕子

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト内  
MAIL [saitamaken.shiminnetwork@gmail.com](mailto:saitamaken.shiminnetwork@gmail.com)  
URL <http://saitamaken-shimin.com/>

# 埼玉県市民ネットワーク通信

いっしょにやる! なんとかある!  
自分発でもくらしー!



## 岩田京子を再び吉川市議会へ!



よしかわ市民ネットワークは、来る吉川市議選(1月26日投票)に向けて、岩田京子(写真)を公認決定しました。

よしかわ市民ネットワークはこの4年間、「いきいきレポート」を議会のたびに手配りして市民の皆さんに議会の様子をお知らせしてきました。公園などでの「議会報告会&まちかど座談会」も好評です。(写真)その先頭に立って政治を身近なものにしてきたのが岩田京子です。

また、岩田京子は、市民の健康や地球環境を守るために、マイクロプラスチックや放射能、水の汚染などの環境問題にもたいへん熱心に取り組んできました。

よしかわ市民ネットワークと埼玉県市民ネットワークは岩田京子と共に、市民に開かれたまち、安心なまちをつくるために活動していきます。



『岩田京子と生き生きクラブ』の事務所も決まりました!  
埼玉県吉川市栄町673-3 1F  
連絡先:080-4902-0284  
どうぞ気軽に覗いてみてくださいね。

## 大野埼玉県新知事に政策要望を行いました

埼玉県市民ネットワークは、8月の県知事選挙では立憲民主党や国民民主党、社民党などとともに大野元裕さんを応援しました。

10月には新知事の大野さんに、「ゲノム編集食品の拡散を防ぐ」など6つの柱12項目の政策について要望書を提出し、知事と直接意見交換ができる有意義な時間を持つことができました。

結果を検証しつつ今後も要望していきます。



# 地域ネット活動報告



## まちネット寄居 「寄居はてなサロン」開催

9月議会終了後、議会主催による議会報告会と意見交換会が開催され、その時の様子を冒頭大北議員に聞きました。また、台風19号の町の被害状況の報告も。「この意見交換会で感じたことは、多くの方が行政や議会へ不満、批判はあっても、ネットのような提案型の意見がほとんど聞こえなかった。改めてネットの活動姿勢の重要性を感じた。10年、20年後を見据えた議会政策に取り組んでいきたい」と話す大北議員。議会の動きをストレートに聞けることの面白さがありました。今後よりリアルタイムの座談会を続けながら、まちづくりの一步を具体的な動きとしていきたいと感じた座談会でした。



## ネットワーク三芳 環境センター見学

自分たちが出したごみのゆくえを追いかけて15年。今回は新しくできたふじみ野・三芳環境センターを見学してきた。ごみを燃やした時の熱を使って発電効率20%超の高効率発電で年間売電一億円以上になる。しかし、ごみ処理のための電気料金は5億円を超えるらしい。処分費用を減らすためにはさらにごみの分別をしなければならない。いつも分別に気を付けている人にとっては「もうこれ以上は」という気持ちになるが、きちんと分別する人を増やしていくという考えでこれからもまわりに声掛けしていきたい。



## 越谷市民ネットワーク 脱プラスチックへの取り組み

越谷ネットでは脱プラスチックの取り組みを行っています。6月議会で代理人の山田裕子がプラごみ削減策について質問しました。その後市は8月に「越谷市役所プラスチック・スマート宣言」を発表。具体的には、市が開催する会議やイベント等でのペットボトル飲料配布の禁止や、マイバッグやマイボトルの利用呼びかけ、記念品等にはプラスチック製の物の使用を控える等としています。越谷ネットではごみを出さない暮らし方について実践・提案する会として「脱プラお茶会」を立ち上げ実施しています。地域協議会には「マイクロプラスチックについての県政出前講座」を提案し実現しました(写真)。スーパー等へプラごみ削減のアンケート活動も始めています。



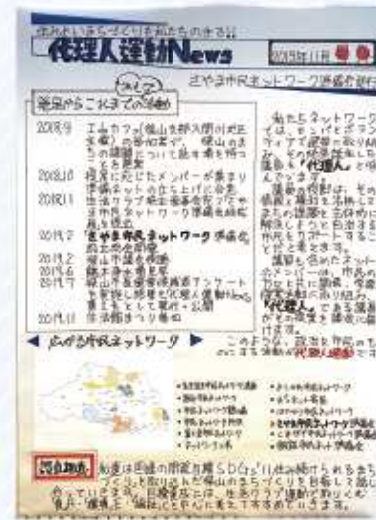
## くまがや市民ネットワーク準備会 「ゲノム編集」食品の学習会を開催

子ども達へ手渡す安全で安心な暮らしという観点で「食」が一番のテーマに活動しています。12月1日、「ゲノム編集」食品についての第一人者である天笠啓祐さん(遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン代表)を迎えて学習会を開きました。参加者は41名。多国籍企業の企み、それに追随する日本政府、無力な国会議員など、厳しい状況がわかりました。それでも、消費者が立ち上がれば阻止できるというメッセージに、大きな宿題を頂きました。学校給食に有機栽培の食材を使っている事例など、更に学びたいです。



## よしかわ市民ネットワーク 市内9か所で放射線を測定

去年に続き放射線の測定を行いました。市役所の測定器を借りて、地上50cmと1mの空間線量を1分間、9カ所で測り、結果はほぼ昨年と変わらず基準値を下回っていました。今回は、『いきいきレポート』のお知らせを見て参加してくれた方が2人見え、自前のドイツ製やロシア製の測定器を3つも持参してくれました。市の測定器ともう一つはガンマ線だけを測るものなのですが、4つで比較すると全ての場所で市のものの数値が低かったです。地表以外に持ち歩きながら数値を見ると、空気の流れて数値は大きくかわり、むしろ地表より高めなのは意外でした。台風19号で除染土や森林からの放射性物質の拡散、食べ物やセシウムボウルによる内部被ばく等の懸念もあります。決して忘れてはいけない問題ですね。



## さやま市民ネットワーク準備会 狭山生活館まつりで活動を紹介

11/1(金)に開催された狭山生活館まつりに参加し、これまでの準備会の歩みや県内に広がる市民ネットの紹介などを記事にした『代理人News 号外』を当日発行、掲示しました。市民ネットワーク鶴ヶ島や、地域で活動するワーカーズなどのパネル展示とともに、まつりのにぎやかなイベントや販売などとは一線を画す地味なコーナーではありましたが、真剣な表情で隅々までご覧になり「狭山市民でも知らないことが多いと感じる」と話された方もいらっしゃいました。まもなく発足から1年、今後は、一人でも多くの目に留まり興味と関心を持ってもらえるよう、活動の場を増やして行きたいと思ひます。



## 市民ネットワーク鶴ヶ島 人生会議を始めよう!

日本人の平均寿命は年々のび、「人生100年時代」という言葉も定着してきました。でも、自分自身がどう生きたいの?と問われても、そう簡単には答えられません。もしも命の危険が迫った時、約7割の人は自分で決めたり、意思を伝えることが出来ないそうです。あらかじめ(アドバンス)どのような世話(ケア)を受けたいか計画しておくこと(プランニング)は、元気な時から生ききり方を考えてみる道標と考え、坂戸鶴ヶ島医師会の出前講座を受講しました。自分自身がどう生きていくのかを意思決定し、それを家族に伝えていく事、元気なうちから医師をはじめとする多職種チームと繰り返し話し合う事、それが人生会議です。そのためにもかかりつけ医を持つことは重要なことです。かかりつけ医は、専門が内科でなくても、整形外科や耳鼻科でも、相談できればよいというものポイントでした。



## はにゅう市民ネットワーク わくわくカフェ開催しました

今回ははにゅう市民ネットは満載です!市民祭りにブース参加して、みんなでネットの活動を広めつつデマンドタクシー実現のための署名活動をしたり、台風の影響でゴミの溜まってしまった利根川土手でゴミ拾い清掃したり、そしてはにゅう市民ネット恒例となってきたわくわくカフェの開催も!今回は議会報告と共に、みんなで防災について考えたのですが、初めて参加してくれた方も多く、非常に盛り上がった話し合いとなりました。現在その時の意見をもとに、12月議会の一般質問を考えています。みんなの声を生かして、無理なく楽しく、一步一步ネット活動をしていければと思います。今後も、はにゅう市民ネットワークの応援を宜しくお願い致します。